



©日本陸上競技連盟

私に自信を与えてくれたコーチ、0.01秒の世界で切磋琢磨できる仲間、応援してくれる両親に感謝しながら、これからも目の前の0.01秒を越えていきます。次の日本室内陸上競技大阪大会も1位獲得を目指します！

小学5年生から陸上競技の距離や走り幅跳びなどさまざまな種目を経験しましたが、どれもじっくりきませんでした。そんな中で中学2年生の夏に出会ったハードルの世界。これならもっとうまくいくかもしれないと感じ、転向しました。埼玉県はハードル走のレベルが高く、入賞しても、いつも同じメンバー（埼玉県強化選手）に負けてしまい、0.01秒の差に泣きました。その悔しさを忘れず練習量を増やした結果、「ジュニアオリンピック陸上2019」男子B110メートルハードルで大会新記録を樹立し1位をつかみました。このような大舞台で躍動できたことは大変嬉しく思います。

## 0.01秒のハードルを越える

くどう はると  
工藤 晴斗さん(北小浜)



## ボールを落としても笑いは拾え！

「北の国から」

あきやま かずのり  
問合せ 秋山 和則さん(☎090・4605・9577)



「北の国から」は、発足して25年以上続くバレーボールチームです。20代から60代と幅広い年齢層の初心者から強者まで、皆で仲良く活動しています。



男子6人制や9人制の大会だけでなく男女ミックス大会に参加するなど、全員が参加できる交流の場を広げています。そして、老若男女がこぞって楽しめる大会も年に2度開催しています。大会は大勢のバレーボール愛好者で賑わい、大いに盛り上がりです。辛く苦しくても一緒に頑張れる仲間が横にいる。そんなチームプレーだからこそ、絆が深まり笑顔が増え、気持ちいい汗を流すことができます。バレーボールはみんなで繋ぐスポーツです。ボールも笑いも繋ぎながら、何歳になってもワクワクする時間を共に楽しみましょう！

【活動日時】毎週土曜日 19時～21時  
【活動場所】加須北中学校 体育館